

震災10年特集

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

小中学生救った「釜石の出来事」って？



大津波が押し寄せる中、一度避難した高台からさらに高い場所に向かう児童生徒ら（釜石市提供・浦山文男さん撮影）

ニュース

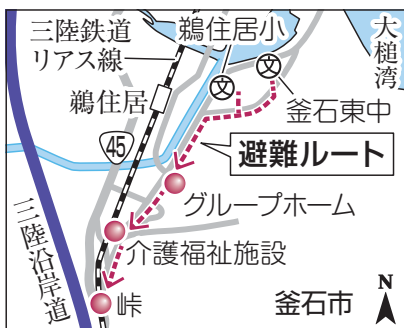
も
教
え
て

「釜石の出来事」を知ってる？ 東日本大震災で1000人以上が犠牲になった釜石市で、小中学生の99・8%が無事だったことを指すんだ。震

釜石市の大槌湾には15日の大津波が到来し、湾に面した鶴住居小と釜石東中は全壊。しかし、児童生徒約570人は高台に避難して無事でした。当時釜石東中2年生

災前から取り組んだ防災教育の成果とされ、国内外から注目されているよ。

防災学び 自主的に避難



地震発生後、生徒たちは自主的に避難を始め、避難場所である800坪先のグループホームに走りました。「津波だ。逃げろ」と呼び掛け、鶴住居小児童も続きました。しかし、グループホームも危険とみられ、さらに300坪先の介護福祉施設へ。中学生は小学生の手をつなぎ、励ましながら歩きました。振り向くと町は大津波にのまれ、グループホームも水没。児童生徒はよ

で、震災後にできた防災学習施設「いのちをつなぐ未来館」の職員川崎杏樹さん(24)は「日ごろいろいろな訓練をしていたおかげ」と言います。



り高い場所に必死で逃げたことで助かりました。市内では震災前から子どもと教員が地域と連携し、防災を学んできました。津波の速さなどメカニズムを学習し、地域を歩いて危険箇所や避難場所を確認する防災マップを作ったり下校後の避難訓練をしたり、体験型の訓練を重ねてきました。



川崎さんは「体育の授業のように楽しみながら学べた。先生や住民の方々と地域を回り、『ハザードマップで学校は津波が来ない想定だけど、違うよね』などと確認できたのも大きい」と振り返ります。

震災を知らない人にはこう語ります。「あなたが命を守る行動を取れば家族も安心だし、家族を守ることもつながる。家族のためにも自分の命を守ることを頑張ろう」

◇「助けられる人から、助ける人へ」。みんなもできることを始めよう。

今週の注目ニュース

◇26日(金) プロ野球開幕

プロ野球のセ・パ両リーグの公式戦が始まるよ。注目は何と言っても、東北楽天に8年ぶりに復帰した田中将大投手だね。東日本大震災後の2013年、楽天を初の日本一に導いた時のように活躍してほしいね。

きょうの紙面

- 2面 「ヤングケアラー」に支援の動き
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー